

応用哲学会第7回年次研究大会タイムテーブル(2015年度)  
 東北大学川内北キャンパス講義棟C棟 2015年4月25日(土)・26日(日)開催

4/25(土)

	A会場(C201)	B会場(C202)	C会場(C205)	D会場(C206)	E会場(C101)	F会場(C102)
9:55	S01 Andrew-Oberg -Epicurus Was Right (Sort-of): Thinking About Death 【Chair: Satoshi-Ogihara】	S02 砂子岳彦 柴正太郎 時間性の物理学への応 用 【司会: 戸田山和久】		S03 菅原裕輝 日本の学際研究の原理 【司会: 唐沢かおり】	S04 吉永明弘 「NIMBYのどこが悪いの か」をめぐる 【司会: 蔵田伸雄】	S05 山田修司 機能美からみた環境の美的 価値について 【司会: 清塚邦彦】
10:20						
10:25	L01 鈴木真奈 高等学校における『科学 技術をよく考える』クリティ カルシンキング授業の実 践報告 【司会: 佐野勝彦】	L02 清水 雄也 因果の多元論と推論主 義: 意味論的探求におけ る或る剥離 【司会: 戸田山和久】	L03 伊勢俊彦 人と人との二者関係の背 景をなすもの 【司会: 奥田太郎】	L04 高取正大 基礎づけによる形而上学 方法論はどのように新し いのか 【司会: 小山虎】	L05 蔵田伸雄 STAP細胞問題と研究倫 理—周囲の状況と、研究 者個人の倫理観と習慣 【司会: 比屋根均】	L06 青田麻未 新たな自然の美的批評理 論に向けて—芸術作品の美 的鑑賞と自然の美的鑑賞の 相違点に注目する— 【司会: 清塚邦彦】
11:15						
11:20	L07 村上祐子 哲学系学会において論理 学セッションを楽しむには 【司会: 佐野勝彦】	L08 北野孝志 技術哲学の過渡期として の60~70年代 【司会: 戸田山和久】	L09 森岡正博 「産む」とはいったい何 をすることか: ひとつの概 念分析 【司会: 奥田太郎】	S06 雪本泰司 truthmaker非全面主義は ジレンマを回避できるの か 【司会: 小山虎】	L10 大谷卓史 プライバシー: 隠す自由か ら自己提示の自由へ 【司会: 神崎宣次】	L11 太田陽 美的性質についての主観主 義と客観主義 【司会: 清塚邦彦】
11:45						
11:50				S07 鹿野祐介 人物同一性と規約 【司会: 小山虎】		
12:10						
12:15						

(理事会 C202)

	A会場(C201)	B会場(C202)	C会場(C205)	D会場(C206)	E会場(C101)	F会場(C102)
13:15	WS01 真嶋俊造 奥田太郎 金光秀和 研究倫理教育における反 転授業向け教材の有効 性の検証	WS02 戸田山和久 唐沢かおり 山口裕幸 山田圭一 実験哲学と概念工学	WS03 直江清隆 原 聖 篠澤和久 荻原 理 自然観の変遷と人間の 運命	WS04 佐金 武 太田 純史 福田 敦史 中山康雄(司会) 自己・意識・時間	WS05 上村崇 栗山 雅俊 茨木 正治 塚本晴二郎 報道における客観性と偏 向報道・極化問題に関す る応用哲学的考察	WS06 大家慎也 服部宏充 秋谷直矩 哲学と社会学は人工知能研 究といかに協働できるか— 人工知能が浸透する社会を 考える
15:15						

15:20	総会 ( C200 )					
15:50						

16:00	シンポジウム ( C200 ) 復興にどう向き合うか ・金田諦應(カフェデモンク) ・清水晶子(東京大学) ・松田毅(神戸大学) 司会: 直江清隆(東北大学)					
18:15						

4/26(日)

	A会場(C201)	B会場(C202)	C会場(C205)	D会場(C206)	E会場(C101)	F会場(C102)
10:00			S08 丸山栄治 「根本の問い」に関連する「無」のいくつかの語法 【司会:河野哲也】	S09 阿部崇史 厚生への機会の平等は成り立つか?—「何の平等か?」をめぐる厚生主義と選択への責任との両立について— 【司会:原聖】	S10 久保田さゆり 動物倫理における議論の受容の問題 【司会:伊勢田哲治】	S11 中山康雄 人工物の機能についての起源理論 【司会:佐金武】
10:25						
10:30	L12 三浦隆宏 哲学カフェとシティズンシップ—「私たち」という感覚を育むために 【司会:土屋陽介】	L13 寺本剛 世代間倫理に根ざした技術選択—原子力発電を手がかりに 【司会:鈴木真】	L14 赤塚弘之 媒体としての人間について—ハイデガーの『哲学の寄与における』における人間についての問い 【司会:河野哲也】	L15 沖田千里 Rogersにおける無条件の肯定的配慮・共感的理解の検討—建設的な自他の関係性— 【司会:原聖】	L16 白井裕希 動物倫理における感情分析 【司会:伊勢田哲治】	L17 高田敦史 人工物としてのフィクショナルキャラクター 【司会:佐金武】
11:20						
11:25	L18 土屋陽介 知的徳の育成のための具体的な教育手法の開発 【司会:三浦隆宏】	L19 戸谷洋志 原子力発電所と想像力—科学技術文明をめぐるアンダースとヨーナスの思想の比較 【司会:江口聡】	L20 諸岡優鷹 夢そのものの身分はいかなるものなのか—ラカンの精神分析理論に基づいた考察 【司会:河野哲也】	L21 小松原織香 「権利の主張」と「コミュニティの再構築」の間で:性暴力とRJ(修復的司法)への応用倫理的接近 【司会:村上祐子】	L22 榎野沙央理 哲学的病の要因と感情の諦め 【司会:森岡正博】	L23 成瀬翔 空名の指示とふり 【司会:藤川直也】
12:15						
	A会場(C201)	B会場(C202)	C会場(C205)		E会場(C101)	F会場(C102)
13:15	WS07 神崎宣次 上村崇 紀平知樹 小城拓理 本田康二郎 村上祐子 哲学・倫理学系教員は初年次教育にどのような貢献が可能か?	WS08 服部俊子 大北全俊 椋本直樹 病院という組織を対象とした倫理を考える2	WS09 比屋根郷 清水 右郷 宮林 正恭 技術論-a「様々なリスク」		L24 岡本慎平 時計仕掛けの勇氣—自律機械の有徳性の擁護 【司会:久木田水生】	L25 飯塚理恵 メン問題を巡る近年の論争と解決 【司会:笠木雅史】
15:15					L26 鈴木聡 会話の含みの比較のための論理の測定理論的基礎 【司会:久木田水生】	L27 佐々木拓 行動制御の失敗という観点から依存行動を考える:依存症におけるコントロールと行為者性 【司会:井頭昌彦】
15:20	WS10 成瀬尚志 稲岡大志 笠木雅史 受講する価値のある哲学の授業とはいかなるものか?—哲学教育の意義を考える	WS11 安井絢子 佐藤静 品川哲彦 ケアすることと本質主義—根と拠としての性別・身体・経験をめぐる	WS12 藤木 篤 齊藤了文 入江 信一郎 技術論-b リスクと対策の諸相		L28 丸山善宏 情報の哲学:圏・量子情報・ビッグデータ 【司会:出口康夫】	L29 和泉悠 固有名の述語説と固有名規約 【司会:藤川直也】
16:10						
16:15					L30 久木田水生 If-thenismを擁護する 【司会:西村正秀】	S12 木下頌子 「水」の指示は確定していたのか—自然種名に関する指示の因果説の批判的検討 【司会:藤川直也】
16:40						
17:05						
17:20						

キッズルーム C103

会員控室 C104

大会実行委員  
会理および理事  
会室 C104(会員控室と共有)